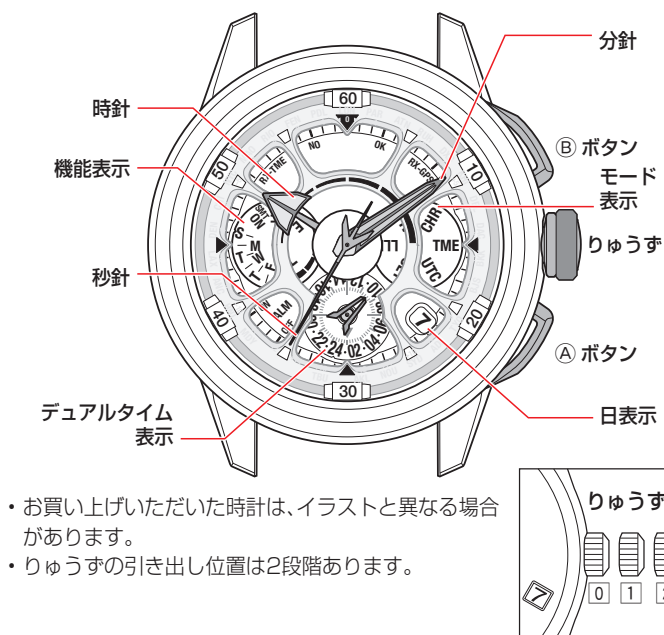


- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/f990/f990.html>

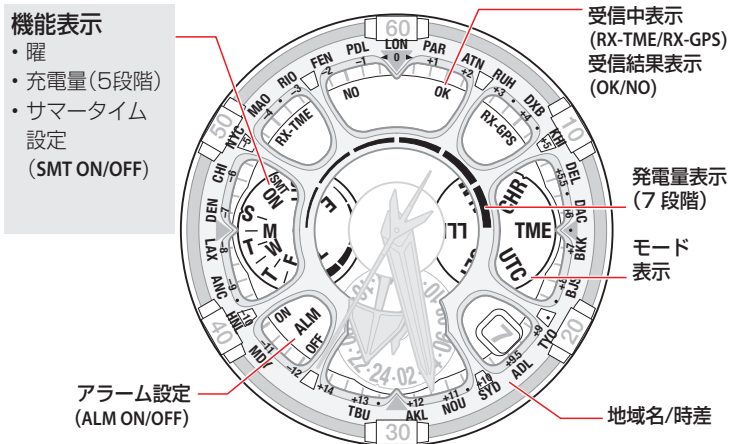
## 各部の名称

### 針とボタン



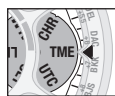
- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- りゅうずの引き出し位置は2段階あります。

### 表示



## モードを切り替える

- りゅうずの位置を **1** にする  
秒針が30秒を指して停止します。
- りゅうずを回して、モード表示のモード名を◀マークに合わせる  
・切り替えたいモード名が水平になるように合わせます。
- りゅうずの位置を **0** にして、終了する  
時計の各表示が、選んだモードの表示に切り替わります。



モード表示の読み位置

## 充電量を確認する

充電量表示で現在のおおよその充電量を確認できます。

- モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を **0** にする
- ② ボタンを押す  
機能表示が充電量をレベル表示し、秒針が現在のホームタイムの時差の設定を指します。  
・モード[LLI]では、充電量レベルが常に表示されます。

レベル	4	3	2	1	0
表示					
持続時間	約1.5年～1.2年	約1.2年～10ヵ月	約10ヵ月～4ヵ月	約4ヵ月～5日	5日以下
意味	十分充電されています	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まるレベルです。	すぐに充電してください。

- ③ ボタンを押して、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。  
・ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

## 発電量を確認する(ライトレベル インディケーター)

- モードを [LLI] にして、りゅうずの位置を **0** にする  
機能表示が充電量をレベル表示します。
- ② ボタンを押す  
秒針が発電量をレベル表示します。  
・発電量は1秒間隔で測定され、レベル表示されます。

レベル	6	5	4	3	2	1	0
表示							
意味	発電量は、充電に適しています。						発電量レベルが「5」または「6」になるような、より明るい場所で充電してください。

- ③ ボタンを押して、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。  
・ボタンを押さなくても、30秒間経過すると自動で戻ります。

衛星電波の受信結果を確認する

- 1 モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を 0 にする
- 2 ① ボタンを押す  
秒針が、前回の受信結果を指します。
- |    |  |            |
|----|--|------------|
| OK |  | 受信に成功しました。 |
| NO |  | 受信に失敗しました。 |
- 受信結果では、位置情報の取得/時刻情報の取得の区別をしません。
- 3 ① ボタンを押して、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。  
• ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

衛星電波を受信する

- 受信を中断したいときは、秒針が秒表示に戻るまで、いずれかのボタンを押し続けます。

位置情報を取得する

- 取得した位置情報から、自動でワールドタイムを設定し、ホームタイムの時刻/カレンダー合わせを行います。
- 位置情報の取得には、30 秒～2 分かかります。

- 1 モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を 0 にする
- 2 秒針が「RX-GPS」を指すまで、① ボタンを 2 秒間押し続ける  
• 受信が終わると、秒針がワールドタイムの設定を指し、秒表示に戻ります。

時刻受信

- 時刻受信には、3 ～30 秒かかります。
- 1 モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を 0 にする
- 2 秒針が「RX-TME」を指すまで、① ボタンを 2 秒間押し続ける  
• 受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

うるう秒受信

- 時刻受信には、36秒 ～13 分かかります。
- 1 モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を 0 にする
- 2 ① ボタンを 7 秒間押し続ける  
• 秒針が一度「RX-TME」を指してから、一回転し再び「RX-TME」を指したら、ボタンを離します。  
受信が始まります。  
• 受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

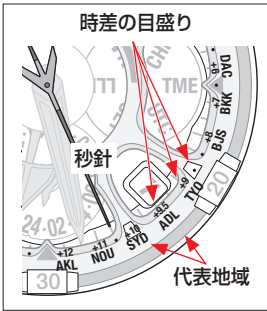
手動でワールドタイムを設定する

この時計は、UTC(協定世界時)基準の39の時差を設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

- 1 モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を 2 にする  
秒針がホームタイムの現在の時差の設定を指します。  
• モードが[UTC] のときは、ホームタイムの時差の設定のみ変更できます。
- 2 ② ボタンを押す  
秒針がローカルタイムの現在の時差の設定を指します。  
• ②ボタンを押すごとに、それぞれの分針が少し動き、ホームタイム/ ローカルタイムの設定変更に切り替わります。
- 3 りゅうずを回して、時差を設定する  
時刻表示が切り替わります。
- 4 りゅうずの位置を 0 にして、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。

時差の設定の見かた

時計上には、時差の目盛りが39あり、その一部に代表地域が表記されています。時差の設定は、秒針をこれらに合わせることで行います。  
右の図では、秒針が26秒を指していて、時差の設定は「+10.5」になっています。  
• 時差は、UTC基準です。



時差と代表地域について

(2018年1月現在)

時差	秒針	表記	代表地域
0	0 秒	LON	ロンドン
+1	2 秒	PAR	パリ
+2	4 秒	ATH	アテネ
+3	6 秒	RUH	リヤド
+3.5	7 秒	—	テヘラン
+4	8 秒	DXB	ドバイ
+4.5	9 秒	—	カブール
+5	10 秒	KHI	カラチ
+5.5	12 秒	DEL	デリー
+5.75	13 秒	—	カトマンズ
+6	14 秒	DAC	ダッカ
+6.5	15 秒	—	ヤンゴン
+7	16 秒	BKK	バンコク
+8	18 秒	BJS (HKG)	北京/香港
+8.5	19 秒	—	平壤
+8.75	20 秒	—	ユークラ
+9	21 秒	TYO	東京
+9.5	23 秒	ADL	アデレード
+10	25 秒	SYD	シドニー
+10.5	26 秒	—	ロード・ハウ島
+11	27 秒	NOU	ヌーメア
+12	29 秒	AKL	オークランド

時差	秒針	表記	代表地域
+12.75	31 秒	—	チャタム諸島
+13	32 秒	TBU	ヌクアロファ
+14	34 秒	—	キリスイマスイ島
-12	36 秒	—	ベーカー島
-11	38 秒	MDY	ミッドウェイ諸島
-10	40 秒	HNL	ホノルル
-9.5	41 秒	—	マルケサス諸島
-9	42 秒	ANC	アンカレジ
-8	44 秒	LAX	ロサンゼルス
-7	46 秒	DEN	デンバー
-6	48 秒	CHI	シカゴ
-5	50 秒	NYC	ニューヨーク
-4	52 秒	MAO	マナウス
-3.5	53 秒	—	セント・ジョンズ
-3	54 秒	RIO	リオデジャネイロ
-2	56 秒	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島
-1	58 秒	PDL	アゾレス諸島

ホームタイム/ ローカルタイムを入れ替える

- 1 モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を 0 にする
- 2 ① ボタンと ② ボタンを同時に押す  
確認音が鳴り、ホームタイム/ ローカルタイムの時刻が入れ替わります。  
• 日表示/曜表示は、新たにホームタイムとして表示される時刻に基づきます。



## サマータイムを表示させる

- 1 モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を ② にする  
機能表示が、ホームタイムのサマータイム設定 (SMT ON/OFF) を指します。  
・モードが [UTC] のときは、ホームタイムのサマータイム設定のみ変更できません。
- 2 ① ボタンを押す  

SMT ON		サマータイムが表示されます。
SMT OFF		標準時刻が表示されます。

  - ・① ボタンを押すごとに、サマータイム設定 (SMT ON/OFF) が切り替わります。
- 3 ② ボタンを押す  
機能表示が、ローカルタイムのサマータイム設定 (SMT ON/OFF) を指します。  
・② ボタンを押すごとに、それぞれの分針が少し動き、ホームタイム/ローカルタイムの設定変更に切り替わります。
- 4 ③ ボタンを押して、ローカルタイムのサマータイム設定を切り替える
- 5 りゅうずの位置を ① にして終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。

## アラームを使う

アラームは、常にホームタイムの表示時刻に基づきます。

- 1 モードを [ALM] にして、りゅうずの位置を ② にする  
デュアルタイム表示に、現在のアラームの設定時刻が表示され、秒針が、現在のアラーム設定 (ALM ON/OFF) を指します。  
・アラームの設定時刻を見やすくするため、時針と分針が一時的に移動することがあります。
- 2 りゅうずを回して、アラームの時刻を設定する  
・りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。  
動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 3 ① ボタンを押して、アラーム設定 (ALM ON/OFF) を設定する  
・① ボタンを押すごとに、設定が切り替わります。
- 4 モードを [TME] にし、りゅうずの位置を ① にして、終了する  
秒針が、秒表示に戻ります。

### アラーム音をとめるときは

いずれかのボタンを押します。

## うるう秒の設定を確認・修正する

- ・うるう秒の設定の修正は自動で行われますが、手動で行うこともできます。

最新のうるう秒情報は、下記の情報通信研究機構・日本標準時グループのサイトでご覧いただけます。

<http://jijy.nict.go.jp/QandA/data/leapsec.html>

- 1 モードを [SET] にして、りゅうずの位置を ② にする  
秒針が停止します。
- 2 ② ボタンを 2 秒間以上押す  
秒針と分針が「0分0秒」を起点とした経過秒数で、うるう秒の設定を表示します。

うるう秒の設定が「-37秒」のとき	うるう秒の設定が「-65秒」のとき
「0分37秒」を指します。	「1分5秒」を指します。

- 3 うるう秒の設定が正しくないときは、りゅうずを回して設定を修正する  
・修正できる範囲は、0秒から-90秒です。
- 4 りゅうずの位置を ① にする
- 5 モードを [TME] にして、終了する

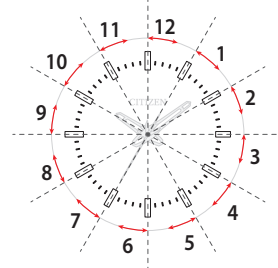
## 時刻とカレンダーを手動で合わせる

ホームタイムの表示時刻/カレンダーを手動で合わせます。

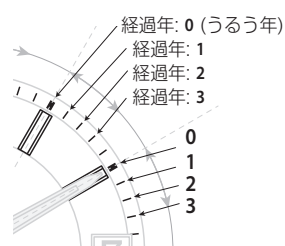
- ・あらかじめ、「手動でワールドタイムを設定する」でワールドタイムの設定を行ってください。
- ・ローカルタイムの時刻は、ホームタイムの手動合わせ後に、時差の設定に応じて自動で修正されます。

- 1 モードを [SET] にして、りゅうずの位置を ② にする  
秒針が停止します。
- 2 ① ボタンを 2 秒間以上押し続ける  
分針が少し動き、時刻/カレンダー合わせができるようになります。
- 3 ② ボタンをくり返し押して、合わせる針/表示を選ぶ  
・② ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。  
時・分 → 日 → 年/月 → 曜 → (始めに戻る)  
・針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。
- 4 りゅうずを回して、針/表示を合わせる  
・時・分・日表示は連動します。午前/午後の違いに注意します。日表示が切り替わったときが午前です。  
・日表示は、機能表示が5回転すると切り替わります。  
・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。  
・年と月は、秒針で表示されます。

月は、下図に示した範囲で示されます。  
各数字が月に対応します。



年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。

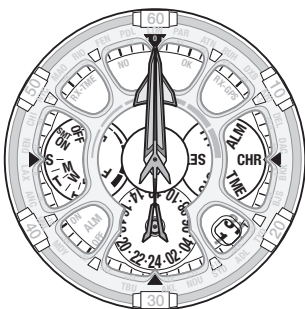


- ・うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧ください。 <http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>

- 5 手順 3 と 4 をくり返す
- 6 時報に合わせて、りゅうずの位置を ① にする  
秒針が0秒から動き出します。
- 7 モードを [TME] にして、終了する

## 基準位置を確認する

- 1 モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を **2** にする  
秒針/デュアルタイム表示が、0の位置を指して、停止します。
- 2 **A** ボタンを押し続ける  
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。  
・針が動き出したらボタンを離します。
- 3 基準位置を確認する  
正しい基準位置は次のとおりです。  
・時計針/分針/秒針: 0時00分0秒  
・日表示: 「31」と「1」の間  
・機能表示: 「S」(日曜日)  
・デュアルタイム表示: 0時00分



基準位置がずれているときは、次の「基準位置を修正する」の手順3に進みます。

- 4 りゅうずの位置を **0** にする
- 5 モードを [TME] にして、終了する

## 基準位置を修正する

- 1 モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を **2** にする  
秒針/デュアルタイム表示が、0の位置を指して、停止します。
- 2 **A** ボタンを押し続ける  
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。  
・針が動き出したらボタンを離します。
- 3 **A** ボタンを押す  
機能表示が少し動き、機能表示と日表示の基準位置の修正ができるようになります。
- 4 **A** ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ  
・ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。  
機能表示/日表示 → デュアルタイム表示 → 時計針/分針 → 秒針 → (始めに戻る)  
・針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
- 5 りゅうずを回して、針/表示を修正する  
・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 6 手順4と5をくり返す
- 7 りゅうずの位置を **0** にする
- 8 モードを [TME] にして、終了する

## オールリセットする

- 1 モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を **2** にする
- 2 **A** ボタンと **B** ボタンを同時に 4 秒間以上押して、離す  
ボタンから手を離すと、アラームが鳴り、各針が現在の基準位置に動きます。

オールリセット後の各設定	
カレンダー	うるう年の1月(5秒の位置)
ワールドタイム	時差0(LON)、ロンドン
受信結果	NO
サマータイム	全ての地域で、OFF
アラーム設定	OFF
アラーム時刻	午前0時0分
うるう秒	
ロールオーバー数	オールリセットしても変更されません。

### オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置の修正、時刻/カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。